

(仮称)NFP商業施設

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

株式会社田邊空機機製作所名古屋工場移転後の敷地の活用方法として複合商業施設「(仮称)NFP商業施設」を新設する。(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	令和元年6月27日		
店舗	店舗名称	(仮称)NFP商業施設	
	店舗所在地	愛知県小牧市川西一丁目1番	
設置者	名称	名鉄協商株式会社	
	代表者	代表取締役 高橋 健治	
	住所	名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号	
	その他	ほか3名	
小売業者	名称	株式会社名鉄AUTO	
	代表者	代表取締役 小林 昌弘	
	住所	名古屋市北区山田一丁目5番地の20	
	その他	ほか3名	
店舗面積	2,915 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	130台 (指針台数: 114台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	86台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	300 m ²
廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり	
	容量	56.34 m ³	
施設の運営	営業時間	開店	午前7時
		閉店	午後9時
	駐車場利用時間帯	午前6時30分から午後10時00分まで	
	駐車場出入口	数	3箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで(一部午前6時30分から午前7時まで)		
新設する日	令和2年2月28日		

3 参考事項

敷地面積	16,183 m ²		
建築面積	5,875 m ²		
延床面積	6,096 m ²		
業態	総合店		
用途地域	工業地域	—	—
備考			

(仮称)NFP商業施設

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一又は関連企業のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	必要に応じ交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C / D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F × G
152,816人	2,915 ㎡	1,013	14.40%	2,000 m	70.00%	2.00 人	149 台	0.77	114 台

総駐車台数	229 台	−	従業員等駐車台数	99 台	−	業務用駐車台数	0 台	−	搬出入用駐車台数	0 台	−	併設施設駐車台数	0 台	=	来客用駐車台数	130 台	評価	○
-------	-------	---	----------	------	---	---------	-----	---	----------	-----	---	----------	-----	---	---------	-------	----	---

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
915 ㎡	31.4%	127 台

総駐車台数	229 台	−	従業員等駐車台数	99 台	−	業務用駐車台数	0 台	−	搬出入用駐車台数	0 台	=	来客用駐車台数	130 台	評価	○
-------	-------	---	----------	------	---	---------	-----	---	----------	-----	---	---------	-------	----	---

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オーバーレーン:無	2平面自走オーバーレーン:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	149 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	229 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	段差をなくす	排ガス配慮	空ぶかし・アイドリング禁止	評価
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入庫方法	整理員	
東	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西	2箇所	国道	40m	あり	0m	0m	54	中央分離帯	右左折混合	あり	○
南	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北	1箇所	市町村道	10.9m	なし	43m	0m	112	双方向	左折のみ	あり	○
交通整理員等の配置		年間を通して混雑する時期のみ配備									

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
○	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交通飽和度等の検討)

(仮称)NFP商業施設

(ア)交差点需要率等の検討

	休 日			平 日			
	現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価	
1. 元町2	需要率	0.574	0.589	○	0.604	0.624	○
	将来交通量/可能交通容量	0.656	0.669	○	0.699	0.712	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		
2. 元町3	需要率	0.425	0.425	○	0.522	0.522	○
	将来交通量/可能交通容量	0.002	0.269	○	0.098	0.234	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		
3. 花塚橋北	需要率	0.505	0.531	○	0.564	0.590	○
	将来交通量/可能交通容量	0.909	0.966	○	0.688	0.740	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		
4. 小牧中南	需要率	0.434	0.512	○	0.332	0.418	○
	将来交通量/可能交通容量	0.414	0.645	○	0.371	0.601	○
	ピーク時間帯	15時台			17時台		
5. 川西1	需要率	0.327	0.360	○	0.292	0.336	○
	将来交通量/可能交通容量	0.206	0.254	○	0.285	0.350	○
	ピーク時間帯	15時台			8時台		
6. 舟津西	需要率	0.258	0.258	○	0.524	0.524	○
	将来交通量/可能交通容量	0.182	0.201	○	0.617	0.647	○
	ピーク時間帯	13時台			8時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

広域看板(交通整理員の手持ち看板等含む)により、来退店経路及び駐車場の出入口を案内する。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	各建物(③⑤⑥⑧)周囲に合計6箇所
駐輪場の収容台数	86台
標準収容台数	84台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	6台
位置及び箇所	建物②西側駐車場内に1箇所		

位置評価	台数評価
○	○

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	一部混在	300㎡	あり	10分	1台	3台	○

(イ)計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~7:00	3台	17:00~18:00	12:00~13:00	なし	なし	○

ク 経路の設定等

(ア)車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	-	なし

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	-	-

※非配備の場合等の対応

-

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

(仮称)NFP商業施設

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	—

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮なし	なし	—

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	なし	なし	室外機	なし	なし	-
西方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	-
南方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	なし	なし	荷さばき施設	なし	なし	-

遮音壁の影響	遮音壁設置なし
--------	---------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	特になし
荷捌作業運営面での配慮	早朝、夜間の作業・アイドリング禁止、作業員への騒音抑制意識を周知徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器を設置
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型機器を設置
駐車場からの騒音配慮	路面や排水蓋による段差をなくす。
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、夜間の収集作業を禁止
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	低騒音型機器を設置
運営面の騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	騒音源	騒音値	対策	騒音値	騒音源	騒音値	対策	騒音値	騒音源	騒音値	対策	騒音値	騒音源	騒音値	対策	騒音値
定常騒音	空調機室外機	44	冷却塔		給排気口	79	変電施設		浄化槽		ポンプ					
	冷凍機室外機	4	キュービクル	4	洗濯機	1										
変動騒音	自動車走行	○	後進警報アザー		台車走行		BGM		アナウンス							
	ゴミ収集作業	○	アイドリング			○										
衝撃騒音	荷降り音	○	台車走行													
建物の構造(高さ)	鉄骨造2階建(9.8m)他															

(仮称)NFP商業施設

<テナント②:カワサキプラザ沼津>

759 m²

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	14.40 m ³	1日	0.158 t	0.10 t/m ³	1.58 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.005 t	0.10 t/m ³	0.05 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.005 t	0.10 t/m ³	0.05 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.015 t	0.01 t/m ³	1.52 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.128 t	0.55 t/m ³	0.23 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.041 t	0.38 t/m ³	0.11 m ³	変更なし	○
合計	14.40 m ³	-	-	-	3.54 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

<テナント③:株式会社シンナゴヤトレード>

1501 m²

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	7.20 m ³	1日	0.312 t	0.10 t/m ³	3.12 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.011 t	0.10 t/m ³	0.11 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.009 t	0.10 t/m ³	0.09 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.030 t	0.01 t/m ³	3.00 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.254 t	0.55 t/m ³	0.46 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.081 t	0.38 t/m ³	0.21 m ³	変更なし	○
合計	7.20 m ³	-	-	-	6.99 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

<テナント④:株式会社ジズ>

143 m²

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	0.96 m ³	1日	0.030 t	0.10 t/m ³	0.30 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.001 t	0.10 t/m ³	0.01 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.001 t	0.10 t/m ³	0.01 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.003 t	0.01 t/m ³	0.29 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.024 t	0.55 t/m ³	0.04 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.008 t	0.38 t/m ³	0.02 m ³	変更なし	○
合計	0.96 m ³	-	-	-	0.67 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

取扱品目	飲食店の面積	飲食店の保管容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更
生ごみ等用	850 m ²	1.00 m ³	1日	170.0 kg	550 kg/m ³	0.31 m ³	変更なし
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

(ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・自動販売機を設置する箇所には、空缶・空き瓶・ペットボトルの回収箱を設置する。
- ・買い物袋持参運動等でレジ袋削減に取組む。

(仮称)NFP商業施設

(エ) 廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	早朝、夜間の収集作業を禁止
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	グリストラップの設置
併設施設からの悪臭防止対策	毎日清掃、生ゴミ保冷库保管

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	周辺と調和のとれた外観とします。
	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行う。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する	
照明等の配慮	照明機器の配光を駐車場通路に向け、隣接地が直接光で照射されないように配	
敷地内の緑地計画	駐車場を中心に緑地200.72㎡(1.2%)を設置	

評価
○

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし